

## 様式第5号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 実 施 計 画	
1	教育実習の内容及び成績評価等
①	教育実習の時期 4年次（第7セメスター） 5月～6月
②	教育実習の実習期間・総時間数 4週間 4単位：180時間
③	教育実習校の確保の方法 浜松市教育委員会、磐田市教育委員会の協力により、受入日程及び受入人数等の調整を行い、必要数を確保する。
④	教育実習内容 教育実習の主な内容（段階）は、①見学・観察、②教育参加・補助、③学習指導、④研究授業または全日指導を体験する。この実習では小学校（幼稚園）における教育の実際を体験することにより、児童（幼児）に対する理解を深めるとともに、教育の理論と実践の関係を具体的に理解し、習得した知識・技能を総合的に実践しうる能力と教育者にふさわしい態度を身につけることを目的とする。
⑤	教育実習生に対する指導の方法 教育実習中に巡回指導を行い、教育実習校（園）の指導教諭との連携のもとに、教育実習生への指導を行う
⑥	教育実習の成績評価（評価の基準及び方法） 教育実習校（園）の指導教諭は教育実習後、教育実習評価表にて、教育実習態度、教育の能力、学習指導の能力、総合所見を記載し大学へ返送する。大学の実習指導者は、課題、教育実習校（園）からの評価、巡回指導時の指導、実習ノート等をもとに総合的に判断して評価する。
2	事前及び事後の指導の内容等
①	時期及び時間数 4年次（第7セメスター） 5月～6月 1単位：45時間
②	内容（具体的な指導項目） 1. 事前指導として学内において講義や視聴覚学習等を用いた演習を行い、また実習校（園）において見学・オリエンテーション等を行う。とりあげる内容は次の通りである。 （1）教育実習の意義・目的・内容の理解 （2）教育実習の方法の理解 （3）教育実習の心構えの理解。特に個人のプライバシーの保護と守秘義務、子どもの人権尊重についての理解。  （4）教育実習課題の明確化 （5）研究授業（全日指導）の準備、指導 （6）実習記録の意義・方法の理解

## (7) 実習施設の理解

2. 実習終了後に、事後指導として実習総括・評価を行い、新たな学習目標を明確化させ、教員志望学生の資質、能力の向上を図る。

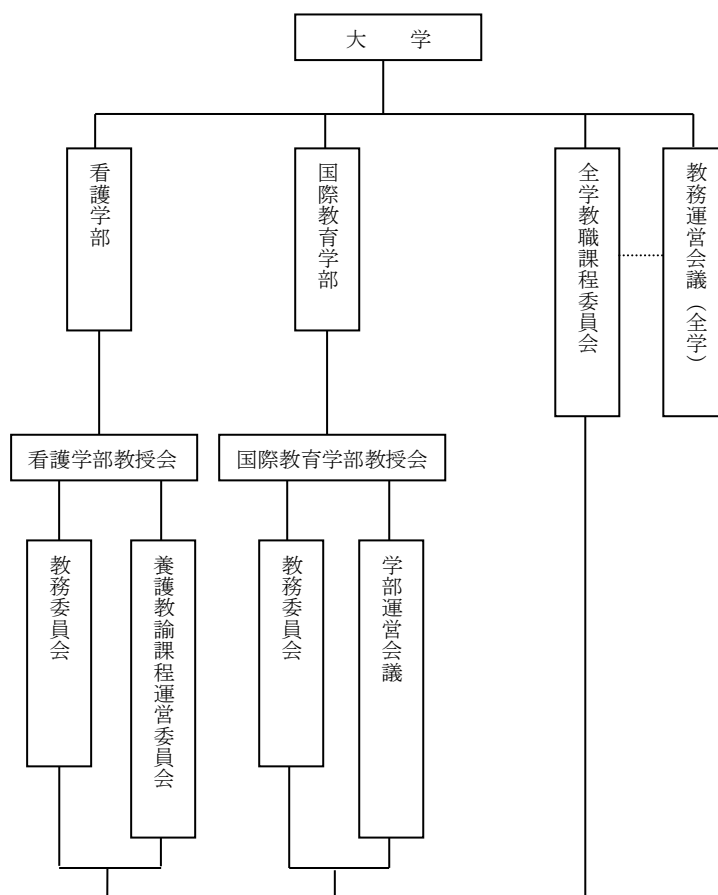
## 3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

## ① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・委員会等の名称  
「全学教職課程委員会」
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）  
教職課程委員長（教務部長）  
教職科目担当教員（各学部から2名程度）  
教学事務統括センター長、教務事務センター長
- ・委員会等の運営方法  
年2回開催のほか、必要に応じ全学教務運営会議において案件を検討し、教職課程委員会に充当する。

## 【委員会の組織図】



② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等

・委員会等の名称

「静岡県教育委員会と県内大学等との連携推進連絡会」

・委員会等の構成員（役職・人数など）

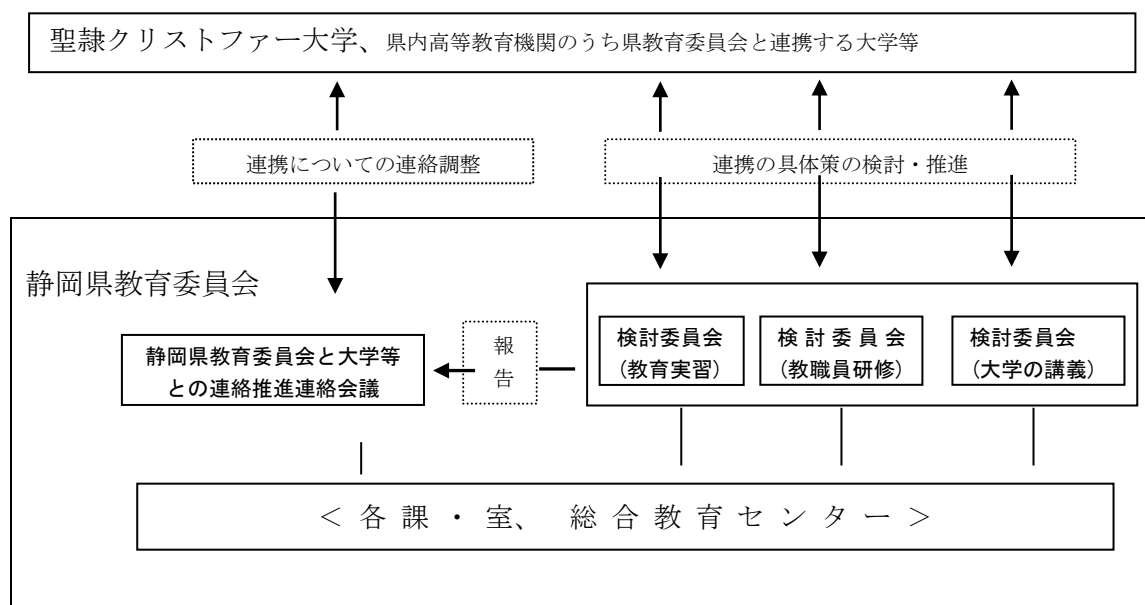
聖隷クリストファー大学ほか県内加盟大学、本学からは社会福祉学部及び看護学部から委員各1名。

静岡県教育委員会 教育長ほか6名、市町教育委員会から静岡県都市教育長協議会代表者・静岡県町教育長会代表者、公立学校の関係者から、静岡県校長会代表（小・中学校）、静岡県高等学校長協会代表・静岡県特別支援学校長会代表、県内加盟大学担当責任者

・委員会等の運営方法

静岡県教育委員会が連携事務を担当し、会長(教育長)が連絡会を招集。

【委員会の組織図】



4 教育実習の受講資格

1. 以下の科目・単位を履修済であること。

小一種免

- ・教科及び教科の指導法に関する科目 31 単位
- ・教育の基礎的理解に関する科目等 23 単位
- ・大学が独自に設定する科目 3 単位
- ・教育職員免許法第66条の6に定める科目 8 単位

幼一種免

- ・幼領域及び保育内容の指導法に関する科目 18 単位
- ・教育の基礎的理解に関する科目等 19 単位
- ・大学が独自に設定する科目 14 単位
- ・教育職員免許法第66条の6に定める科目 8 単位

5 実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	小学校 2057 級数 (浜松市と磐田市)	幼稚園 168 学級 (浜松市のみ)
○		教育委員会名	浜松市教育委員会	小学校：97校 幼稚園：60園
○		教育委員会名	磐田市教育委員会	小学校：22校

聖隷クリストファー大学 国際教育学部こども教育学科  
教育実習(幼稚園)評価表

学年	年	学籍番号		氏名			
幼稚園名				園長氏名	印		
				実習指導教諭名	印		
評価項目			評価				
			A	B	C	D	
知識・技術	1. 実習園の概要の理解						
	2. 1日の流れと環境構成の理解						
	3. 幼児の発達の理解						
	4. 教育課程・指導計画の理解						
	5. 保育に関する技術の習得						
	6. 教員間とのチームワークの理解						
	7. 家庭・地域社会への理解						
	8. 幼児とのかかわり						
	9. 安全・健康への配慮						
	10. 実習日誌・記録の取り方						
所見							
人柄・態度	11. 積極性						
	12. 協調性						
	13. 責任感						
	14. 探究心						
	15. 礼儀						
所見							
総合評価(該当する欄に○)							

評価基準 A=優れている B=適切である C=努力を要する D=努力が認められない

総合所見							
実習期間				出席日数	欠席日数	遅刻日数	早退日数
年 月 日( )~ 月 日( )				日	日	回	回

# 教育実習成績評価票

年 月 日

フリガナ 実習生名		聖隷クリストファー大学国際教育学部 こども教育学科 学籍番号( )				
実習期間		出席すべき日数	出席日数	欠席日数(理由)		遅刻・早退
年	月	日から	日	日	病欠	日
年	月	日まで	日	日	事故欠	日
					その他	日
						遅刻 早退
						回 回

## 1 評定

各評価項目及び総合評定について、いずれかの評語を記入してください。

(評語) 5(非常に優れた資質・能力を有している)      4(優れた資質・能力を有している)      3(資質・能力を有している)  
2(資質・能力が不足している)      1(教員としての資質・能力がない)

評価項目		評価の観点	評定
領域① 【教師の在り方】	(1)	使命感と豊かな人間性と教師として必要な教養 ①子供一人一人の実態や状況を把握し、子供のよさや可能性を引き出し伸ばすために、子供と積極的にかかわっている。 ②小学校教師に求められる常識を身に付けている。	
	(2)	コミュニケーション能力と対人関係力 ①管理職をはじめとする、教職員とコミュニケーションを積極的に図ることができる能力を身に付けている。 ②児童と適切な言葉遣いや話しやすい態度で接することができる。	
	(3)	学校組織の一員としての役割とサービスの厳正 ①学級担任の職務内容や校務分掌について理解し、管理職等に必要な報告、連絡等を適切に行うことができる。 ②法令を遵守する態度を身に付けている。	
領域② 【実践的な指導力】	(4)	学習指導要領の理解と授業づくり ①学習指導要領の各教科等の目標や内容を踏まえて学習指導を工夫している。 ②授業準備のための教材研究・教材解釈ができ、児童の実態に即した授業づくりを実践している。	
	(5)	単元指導計画の作成と指導方法・指導技術 ①単元指導計画に基づき、実践する授業の指導目標や指導内容、評価基準、指導観等を踏まえた学習指導案を作成することができる。 ②授業の場面において児童の実態と教科の特性に応じた指導方法や指導技術(発問、板書、説明等)を身に付けている。	
	(6)	児童の学習状況の把握と授業改善 ①学習指導における評価の意義について理解し、授業中の児童の学習状況の把握や個別指導等を工夫することができる。 ②授業研究後に授業を振り返り、課題を整理し授業改善を進んで実践している。	
	(7)	特別支援教育とキャリア教育 ①通常の学級に在籍する、支援を要する児童へ積極的にかかわり、指導している。 ②児童に将来を考えさせたり、自己の可能性を見出させるために授業を工夫したり児童に積極的にかかわっている。	
領域③ 【学級経営】	(8)	学級経営と集団の把握・生徒指導 ①学級の規範づくりや教室の環境構成、清掃指導、給食指導等を積極的に行っている。 ②状況に応じて適時に的確な判断を行い、教師として毅然とした態度をとり、適切にほめたり、叱ったりすることができる。	
	(9)	児童理解と教育相談・保護者との連携 ①カウンセリングマインドや教育相談の基本的な技法を踏まえて児童に接している。 ②保護者や地域住民等と連携して、学校の教育力を高めていることを理解している。	
総合評定			

## 2 校長所見

教育実習全体を通しての所見を具体的に記入してください。

(観点別又は総合で「2」以下の評定を行った場合には、必ずその理由を記入してください。)


学校名 校長名	印	指導教員名	印
------------	---	-------	---

浜教学教第913号  
令和4年1月14日

聖隷クリストファー大学  
学長 大城 昌平 様

浜松市教育委員会  
教育長 宮崎 正

### 教育実習の受け入れに関する承諾書

聖隷クリストファー大学国際教育学部こども教育学科教育実習について、下記のとおり受け入れを承諾します。

#### 記

- 1 受入れ学部学科 国際教育学部 こども教育学科
- 2 入学定員 国際教育学部 こども教育学科 定員50人
- 3 実習開始時期 令和8年4月1日

以上

## 教育実習受け入れ承諾書

聖隷クリストファー大学に係る教育実習の受け入れについて、下記のとおり承諾します。

### 記

- 1 教育実習の受け入れに係る学部・学科  
国際教育学部 こども教育学科（入学定員 50 名）
  
- 2 免許状の種類  
小学校教諭 1 種免許状

以上

2022 年 1 月 14 日

静岡県磐田市国府台 3 番地 1  
磐田市教育委員会  
教育長 村松 啓至